

令和7年度国際交流センター主催留学プログラム内容及び成果

プログラム名称	留学先大学（国名）/ 派遣人数	派遣目的	期間	プログラム内容	成果 専修大学における単位認定数/単位付与者数	評価・単位認定方法
夏期留学プログラム	CIEオックスフォード（英国）/17名 カーンゴソ大学（オーストラリア）/11名	語学研修や現地の人々との交流をとおして外国語運用能力を高めるとともに、留学先国の文化や歴史等を学ぶ	《CIEオックスフォード》約3週間 令和7年8月5日（火）～ 8月28日（木） 《カーンゴソ大学》約4週間 令和7年8月5日（火）～ 9月7日（日）	<p>【留学前】 オリエンテーション（複数回実施） 留学の心構えや趣旨・目的の確認、コースの研修内容、留学までの手続、準備等について理解する 事前研修 プログラムでの学習をより充実したものにするため、基礎的な語学力を身に着ける 海外安全セミナー 海外での危機管理意識を高める</p> <p>【留学中】 語学研修 留学先大学・研修校において所定のコースを受講する プロジェクトワーク SDGsをテーマとし、オックスフォード大学生と共に調査・プレゼンテーションを行う（CIEオックスフォードのみ） インターンシップ シドニーにてインターンシップを行い、海外での勤労観や職業観を養う（カーンゴソ大学のみ） 異文化理解 現地学生・講師及びホストファミリー等との交流をとおして留学先国の文化や歴史に対する理解を深める</p> <p>【留学後】 事後研修 留学で学んだことや留学経験を今後どのように活かすか等について参加者が発表することによって、留学を振り返り、今後の目標を設定するための動機付けを行う レポート提出 現地での語学研修や生活をとおして得た成果をレポートにまとめる</p>	2単位/26名 ※4年次以上の学生、大学院生及び2度目の参加者は単位認定の対象外としている	留学先大学発行の成績証明書に基づき評価・単位認定を行う
中期留学プログラム（前期）	カカリー大学（カナダ）/10名 カーンゴソ大学（オーストラリア）/10名 ワイット大学（ニュージーランド）/5名	実践的なコミュニケーション能力の習得に加え、大学の正規授業を受けるために必要なアカデミックスキル（プレゼンテーション、ノート・テイキング、リサーチ、論文の書き方等）や異文化について学ぶ	《カカリー大学》約3か月間 令和7年4月18日（金）～ 7月21日（月） 《カーンゴソ大学》約5か月間 令和7年4月4日（金）～ 8月18日（月） 《ワイット大学》約4か月間 令和7年4月4日（金）～ 7月20日（日）	<p>【留学前】 オリエンテーション（複数回実施） 留学の心構えや趣旨・目的の確認、コースの研修内容、留学までの手続、準備等について理解する 事前研修 プログラムでの学習をより充実したものにするため、基礎的な語学力を身に着ける 海外安全セミナー 海外での危機管理意識を高める</p> <p>【留学中】 語学研修 留学先大学・研修校において所定のコースを受講する 異文化理解 現地学生・講師及びホストファミリー等との交流をとおして留学先国の文化や歴史に対する理解を深める</p> <p>【留学後】 事後研修 留学で学んだことや留学経験を今後どのように活かすか等をテーマに個別に留学先の言語でプレゼンテーションを行うことで、留学を振り返り、今後の目標を設定するための動機付けを行う 報告書提出 学修成果や留学生活について報告書にまとめ、日本語及び留学先の言語で作成し、自ラリフレクションを行う</p>	16単位/20名 18単位/5名	留学先大学発行の成績証明書に基づき評価・単位認定を行う

プログラム名称	留学先大学（国名）/ 派遣人数	派遣目的	期間	プログラム内容	成果 専修大学における単位認定数/単位付与者数	評価・単位認定方法
中期留学 プログラム （後期）	カガリ大学（カナダ）/5名 ワイト大学（ニュージーランド）/10名 上海大学（中国）/1名 檀国大学（韓国）/3名 ゲアナフト大学（メキシコ）/1名	実践的なコミュニケーション能力の習得に加え、大学の正規授業を受けるために必要なアカデミックスキル（プレゼンテーション、ノート・テイキング、リサーチ、論文の書き方等）や異文化について学ぶ	《カガリ大学》約3か月間 令和7年9月12日（金）～ 12月15日（月） 《ワイト大学》約4か月間 令和7年8月3日（日）～ 12月1日（月） 《上海大学》約4か月間 令和7年9月5日（金）～ 令和8年1月11日（日） 《檀国大学》約5か月間 令和7年8月4日（月）～ 12月21日（日） 《ゲアナフト大学》約4か月間 令和7年8月4日（月）～ 12月1日（月）	<b>【留学前】</b> <u>オリエンテーション（複数回実施）</u> 留学の心構えや趣旨・目的の確認、コースの研修内容、留学までの手続、準備等について理解する <b>事前研修</b> プログラムでの学習をより充実したものにするため、基礎的な語学力を身に着ける <b>海外安全セミナー</b> 海外での危機管理意識を高める <b>【留学中】</b> <b>語学研修</b> 留学先大学・研修校において所定のコースを受講する <b>異文化理解</b> 現地学生・講師及び寮のルームメイト等との交流をとおして留学先国の文化や歴史に対する理解を深める <b>【留学後】</b> <b>事後研修</b> 留学で学んだことや留学経験を今後どのように活かすか等をテーマに個別に留学先の言語でプレゼンテーションを行うことで、留学を振り返り、今後の目標を設定するための動機付けを行う <b>報告書提出</b> 学修成果や留学生活について報告書にまとめ、日本語及び留学先の言語で作成し、自らリフレクションを行う	16単位/16名 18単位/4名	留学先大学発行の成績証明書に基づき評価・単位認定を行う
長期交換 留学 プログラム （第1期）	西北大学（中国）/1名 国立中山大学（台湾）/1名 檀国大学（韓国）/1名 慶熙大学（韓国）/1名	協定校で現地学生と共に正規授業を履修することで、専門分野の知識を深める	《西北大学》約12か月間 令和7年2月19日（水）～ 令和8年1月18日（日） 《国立中山大学》約12か月間 令和7年2月12日（水）～ 12月30日（火） 《檀国大学》約10か月間 令和7年2月24日（月）～ 12月28日（日） 《慶熙大学》約10か月間 令和7年2月24日（月）～ 12月26日（金）	<b>【留学前】</b> <u>オリエンテーション（複数回実施）</u> 留学の心構えや趣旨・目的の確認、留学までの手続、準備等について理解する <b>事前研修</b> 留学先大学における正規授業の履修に備え、語学力を高める <b>海外安全セミナー</b> 海外での危機管理意識を高める <b>【留学中】</b> <b>正規授業の履修</b> 留学先において正規授業を履修し、自身の専門分野の知識を深める <b>【帰国後】</b> <b>報告書提出</b> 学修成果や留学生活について報告書にまとめ、日本語及び留学先の言語で作成し、自らリフレクションを行う	15単位/1名 19単位/1名 22単位/1名 30単位/1名	留学先大学で修得した科目の内容や成績評価に基づき、単位認定可否の審査を行う
長期交換 留学 プログラム （第2期）	オレゴン大学（米国）/3名 ※集中英語研修（6/30～8/28）は、 レン・コミュニティ・カレッジで学修	協定校で現地学生と共に正規授業を履修することで、専門分野の知識を深める	《オレゴン大学》約10か月間 令和7年6月24日（火）～ 令和8年3月24日（火）	<b>【留学前】</b> <u>オリエンテーション（複数回実施）</u> 留学の心構えや趣旨・目的の確認、留学までの手続、準備等について理解する <b>事前研修</b> 留学先大学における正規授業の履修に備え、語学力を高める <b>海外安全セミナー</b> 海外での危機管理意識を高める <b>【留学中】</b> <b>正規授業の履修</b> 留学先において正規授業を履修し、自身の専門分野の知識を深める <b>【帰国後】</b> <b>報告書提出</b> 学修成果や留学生活について報告書にまとめ、日本語及び留学先の言語で作成し、自らリフレクションを行う	6単位/1名 8単位/1名 18単位/1名	留学先大学で修得した科目の内容や成績評価に基づき、単位認定可否の審査を行う

プログラム名称	留学先大学（国名）/ 派遣人数	派遣目的	期間	プログラム内容	成果 専修大学における単位認定数/単位付与者数	評価・単位認定方法
<p> Semester 交換留学 プログラム</p>	<p>オレゴン大学（米国）/2名 ダブリン大学トリニティカレッジ（アイルランド）/ 1名</p>	<p>協定校で現地学生と共に 正規授業を履修すること で、専門分野の知識を深 める</p>	<p>《オレゴン大学》約4か月間 令和7年9月19日（金）～ 12月16日（火） 《ダブリン大学トリニティカレッジ》約4か月間 令和7年8月25日（月）～ 12月21日（日）</p>	<p>【留学前】 オリエンテーション（複数回実施） 留学の心構えや趣旨・目的の確認、留学までの手続、準備等について理 解する 事前研修 留学先大学における正規授業の履修に備え、語学力を高める 海外安全セミナー 海外での危機管理意識を高める 【留学中】 正規授業の履修 留学先において正規授業を履修し、自身の専門分野の知識を深める 【帰国後】 報告書提出 学修成果や留学生活について報告書にまとめ、日本語及び留学先の言語 で作成し、自らリフレクションを行う</p>	<p>4単位/1名 6単位/1名 14単位/1名</p>	<p>留学先大学で修得した科 目の内容や成績評価に基 づき、単位認定可否の審 査を行う</p>
<p> 春期留学 プログラム</p>	<p>ワカト大学（ニュージーランド）/21名 ※本学進学予定の専修大学附属高校 生2名を含む 国立中山大學（中国）/6名 慶熙大学（韓国）/15名 ※本学進学予定の専修大学附属高校 生2名を含む マルティン・ルター大学ハル・ヴァイツェンベルク （ドイツ）/8名</p>	<p>語学研修や現地の人々との 交流をとおして外国語 運用能力を高めるととも に、留学先国の文化や歴 史等を学ぶ</p>	<p>《ワカト大学》約4週間 令和8年2月6日（金）～ 3月9日（月） 《国立中山大學》約2週間 令和8年3月4日（水）～ 3月21日（土） 《慶熙大学》約3週間 令和8年3月1日（日）～ 3月24日（火） 《マルティン・ルター大学ハル・ヴァイツェンベルク》約4週間 令和8年1月31日（土）～ 2月27日（金）</p>	<p>【留学前】 オリエンテーション（複数回実施） 留学の心構えや趣旨・目的の確認、コースの研修内容、留学までの手 続、準備等について理解する 事前研修 プログラムでの学習をより充実したものにするため、基礎的な語学力を 身につける 海外安全セミナー 海外での危機管理意識を高める 【留学中】 語学研修 留学先大学・研修校において所定のコースを受講する 異文化理解 現地学生・講師及びホストファミリー等との交流をとおして留学先国の 文化や歴史に対する理解を深める 【留学後】 事後研修 留学で学んだことや留学経験を今後どのように活かすか等について参加 者が発表することによって、留学を振り返り、今後の目標を設定するた めの動機付けを行う レポート提出 現地での語学研修や生活をとおして得た成果をレポートにまとめる</p>	<p>※単位認定手続き中 ※4年次以上の学生、大学院生及び2度目の参加者は単位認定の 対象外としている</p>	<p>留学先大学発行の成績証 明書に基づき評価・単位 認定を行う</p>

プログラム 名称	留学先大学（国名）/ 派遣人数	派遣目的	期間	プログラム内容	成果 専修大学における単位認定数/単位付与者数	評価・単位認定方法
東南アジア・スタ ディツアー	タイ商工会議所大学（タイ）/0名	協定校によるレクチャー をとおして東南アジア圏 の社会・文化・歴史への 理解を深めるとともに、 現地学生との交流で異な る文化的背景を持つ他者 との円滑なコミュニケー ション能力を身に付ける	《タイ商工会議所大学》約3週間 令和7年8月25日（月）～ 9月13日（土） ※オンライン研修： 8月25日（月）～8月27日（水） 海外渡航： 8月28日（木）～9月13日（土）	<p>【留学前】 事前研修 プログラムでの学習をより充実したものにするため、基礎的な英語力を 身につける 海外安全セミナー 海外での危機管理意識を高める オリエンテーション 留学の心構えや趣旨・目的の確認、コースの研修内容、留学までの手 続、準備等について理解する</p> <p>【留学中】 語学研修 協定校が実施する所定のコースを受講する（オンライン、海外渡航） フィールドワーク 歴史的な場所を訪問することで、タイの歴史や文化についての理解をよ り深める（海外渡航） タイ国内の日系企業訪問 タイにおけるビジネス環境について学ぶ 異文化理解 現地学生・講師等との交流をとおして留学先国の文化、歴史に対する理 解を深める（海外渡航）</p> <p>【留学後】 事後研修 留学で学んだことや留学経験を今後どのように活かすか等について参加 者が発表することによって、留学を振り返り、今後の目標を設定するた めの動機付けを行う レポート提出 現地での語学研修やフィールドワークをとおして得た成果をレポートに まとめる</p>	※応募人数が最少催行人数に満たなかったため、催行中止	帰国後に成果発表会を行 い、国際交流センター長 が留学成果を確認・評価 する